

1、園の教育目標

『三つ子の魂百まで』 「人を育てるのは人」を基本姿勢に、恵まれた教育環境の中で、子どもたちのすぐれた小さな成長の芽を早く見逃さずに伸ばし、才能を磨き、豊かな心、意欲、態度を培う。	
教育目標	「明るく、たくましく、辛抱強い子どもを育てる」 自然を愛し、美しいものに感動する心を育てる 他人を思いやる心を育てる ありがとうを言える素直な心や、感謝の心を育てる 豊かな精神と丈夫な身体を育てる 基本的な生活習慣を身につける

2、評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取組状況
教職員や子どもたちの音楽活動を充実させる	◎音楽活動の意欲的な取り組み 各年齢にあった音楽活動（リトミック・リズム打ち・楽器練習・発声練習）を行い、音楽を通して、表現力を学ぶと共に、何よりも重要な人と人との心が繋がるように意識して取り組んでいる。 また、教職員においても、音楽研修を行い、子どもたちへの指導を学ぶ機会を設けた。
子どもたちにコミュニケーション力を身につけさせ実践させる	◎挨拶 こどもの成長にとって挨拶は非常に大切なことであると考え、進んで挨拶を行っている また、コミュニケーションの一步としても大切に、これからも積極的に取り組む。
教育内容の充実	◎教育内容の質を高めるため、行事の見直し 今まであった行事をもう一度見直し、子どもたちの成長には、何が必要でその経験から何を育んでほしいかを、職員で考え、子どもたちに今まで以上に寄り添いながら、成長のサポートができるよう取り組みました。その結果、年長児はお泊り保育・全学年としては音楽会の行事の追加が決定。 ◎園庭遊びの充実化 外遊びを通して子どもたちと様々なことを一緒に学び共感しながら、過ごす。 結果、毎日、外遊びを行い、体力の向上に繋げる。
防犯対策	◎警備体制の充実 子どもたちの安全面を確保するために、送迎時も玄関に男性職員含めた門番をつけ、安全面を強化。また、不審なことがあれば保護者へメールで警戒を促す通知と警察へのパトロールのお願いや地域の方への防犯の依頼も実施

3、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<p>31年度は、積極的に子どもたちの成長への更なる補助を考え、行事の見直しや日々の保育の在り方について考えた。 その中で、新たな行事が生まれたり、音楽を通して、子どもたちの表現力を身につけ、心の通わせることの大切さを伝えてくることができました。</p>
---

4、今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
幼児が育つ環境づくりの向上	一人一人の園児が大切にされ愛されていることを実感できるような園であること、生きる力の基礎となる豊かな心、意欲・態度をしっかり育ていけるように教職員一丸となって、幼児の全面発達に尽力する。
音楽活動の強化推進	◎子どもたちの「音を楽しむ」活動の中で精神的躍動感を引き出していく。 豊かな音楽環境の中で楽曲の演奏へと発展させていく。様々な楽器に触れ、音楽を楽しみながら、音感・リズム感・演奏技術の更なる向上を目指していく。
豊かな物的環境づくり	◎情操の発達を促すことを目的に豊かな環境づくりを考慮する。 安全・安心・美観と整理の園舎において、子どもたちの発達を支えていく。
健康管理	◎教職員および園児たちの健康管理 一人一人の健康管理意識を高める。免疫力を高め健康状態を良好に保ち続けるように常に心掛ける。 ◎新型コロナウイルスに対して、感染症の正しい知識や情報を得て、適切に対応し、安心して保育できる環境づくりに努める。

5、財務状況

公認会計士の監査により、適正に運営されていると認められている。
---------------------------------